

示 達

### 三世紀は参世紀「さあ参ろう！人が人よぶ参世紀」

黒住教教主 黒住宗道

全国の黒住教布教師各位と信仰手厚いお道づれの皆様に申し上げます。私は、黒住教第七代教主就任に際して、「まることの世界」の実現を目指して立教三世紀を歩む本教の社会的使命と教徒・信徒の「在るべき姿」と「為すべき行い」を「告諭」をもって教団内外に宣言させていただきました。

奉 祈 人皆の心の神の御開運

天照らす神の御徳を取り次ごう

互いの誠を活かし合って

この「告諭」の精神の推進を図るために、以下の【心構え】と【道の標】を明らかにして、私たちの歩む道筋を示します。

#### 【心構え】

私たち黒住教お道づれば、「活かし合って取り次ごう！」を合言葉に、全ての人々の「元氣」を喚起して、世の中が和やかに共に栄える「まることの世界」の実現を目指します。とりわけ、病み悩み苦しむ人のために「祈りと奉仕の誠」を尽くし、教祖宗忠神のお守りとお導きを信じて自らの信仰心を養い、御教えの励行に心掛けます。そして、共に「まることの世界」の実現を目指す「まることの人づくり」につとめます。

#### 【道の標】

- 平成二十九年 教主就任
- (二〇一七) 第一期「〓活かし合って取り次ぐ〓 習慣・土台づくり」
- 令和六年 神道山ご遷座五十年・立教二百十年
- (二〇二四) 第二期「〓活かし合って取り次ぐ〓 実績推進」
- 令和十二年 教祖神ご降誕二百五十年
- (二〇三〇) 第三期「〓人が人よぶ〓 実績推進」
- 令和十七年 大元宗忠神社ご鎮座百五十年
- (二〇三五)

まずは、神道山ご遷座五十年の令和六年(二〇二四)が当面の目標です。「〓活かし合って取り次ぐ〓 習慣・土台づくり」と記しましたが、折に触れて「告諭」の徹底に心掛けましょう。そして、いよいよ半世紀を迎える〓お日の出の郷・神道山〓での御日拝の有り難さを一人でも多くの方に知らせて、参拝を呼び掛けましょう。信仰は体験です。遙か太古の昔から手厚い祈りが捧げられてきた聖なる吉備の中山・神道山を私たちは霊地として賜り、ご遷座以来一日も欠かさず「お日待ち」の御日拝がつとめられ、世界大和と万民和楽が祈り続けられているのです。この比類なき有り難さを、自信と確信をもって周囲の人々に熱く語り伝えて、人皆の心の神の御開運を勇んで取り次いで参りましょう。

以上